

第3期京都府がん対策推進計画の策定について

令和6年3月
健康福祉部

1 計画改定の趣旨

がんの予防、早期発見、医療提供体制の整備、がんとの共生等のがん対策を重点的・総合的に推進するための計画を策定するもので、現行計画が令和5年度末に終了するため次期計画を策定する。

2 法令根拠 がん対策基本法第12条

3 計画の主な内容

(1) 全体目標と柱となる4つの施策

- ① がん予防・がん検診の強化
- ② がん医療体制の整備・充実
- ③ がんとの共生社会の実現
- ④ これらを支える基盤の整備

(2) 見直しの内容

- ① がん検診受診率の目標を、国と同様に50%から60%に引き上げ
- ② 緩和ケアについて、すべての医療従事者が診断時から治療と併せて取り組むために、更なる取組を推進
- ③ がん患者や家族等の療養生活を支えるため、アピアランスケア等の支援について検討
- ④ 府民本位のがん対策推進に向け「患者・府民参画の推進」、患者やその家族等のサービスへのアクセシビリティ向上等に向け「デジタル化の推進」を追加
- ⑤ 感染症発生・まん延時や災害時を見据えた対策を推進

4 計画期間 令和6年度から令和11年度まで（6年間）

5 パブリックコメント

実施期間：令和5年12月20日（水）～令和6年1月9日（火）

結果：14個人、8団体、計63項目の意見あり

6 今後のスケジュール

令和6年3月 府議会（常任委員会）最終案報告

第3期京都市がん対策推進計画の概要（案）

全体目標・分野別目標及び分野別施策

全体目標：誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての府民とがんの克服を目指す

（1）がん予防・がん検診の強化

がんを予防し、早期発見・早期治療により、がんで亡くなる人を減らす

【1次予防：がんのリスクの減少】

- ①食生活・身体活動・飲酒等生活習慣の改善
- ②たばこ対策
- ③感染に起因するがん対策（ウイルス、細菌など）

【2次予防：がんの早期発見、がん検診】

- ①検診の受診率向上
- ②精度管理・検診従事者の資質向上

（2）がん医療体制の整備・充実

患者本位の適切な医療を実現し、がん患者及びその家族等の苦痛や精神的不安の軽減並びに療養生活の質の維持向上

- ①手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法の推進
- ②緩和ケア・支持療法の推進
- ③在宅医療の充実
- ④連携体制の強化
- ⑤小児がん及びAYA世代のがん対策
- ⑥がんゲノム医療の普及
- ⑦その他治療機能の充実
- ⑧新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

（3）がんとの共生社会の実現

がんになっても安心して暮らせる社会の構築

- ①相談支援体制、情報提供体制の充実
- ②就労支援の強化
- ③社会的な問題への対応の充実
- ④小児・AYA世代、高齢者に対する支援の強化
- ⑤アピアランスケアについて
- ⑥がん診断後の自殺対策について

（4）これらを支える基盤の整備

- ①人材育成の強化
- ②がん教育・がんの正しい知識の普及啓発の推進
- ③がん登録の推進
- ④患者・府民参画の推進
- ⑤デジタル化の推進
- ⑥感染症発生・まん延時や災害時を見据えた対策

第3期京都府がん対策推進計画
最終案

令和6年3月
京都府

目 次

1	計画策定の趣旨	
(1)	策定・改定の経緯	1
(2)	基本方針	1
(3)	計画の位置付け・計画期間	1
2	京都府のがんの現状	
(1)	死亡	3
(2)	罹患	9
3	全体目標と分野別目標	12
4	分野別施策と個別目標	
(1)	がん予防・がん検診の強化	
	【1次予防：がんのリスクの減少】	
	①食生活・身体活動・飲酒等生活習慣の改善	15
	②たばこ対策	17
	③感染に起因するがん対策(ウイルス、細菌など)	21
	【2次予防：がんの早期発見、がん検診】	
	①検診の受診率向上	26
	②精度管理・検診従事者の資質向上	30
(2)	がん医療体制の整備・充実	
	①手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法の推進	31
	②緩和ケア・支持療法の推進	36
	③在宅医療の充実	41
	④連携体制の強化	43
	⑤小児がん及びAYA世代のがん対策	45
	⑥がんゲノム医療の普及	47
	⑦その他治療機能の充実	47
	⑧新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装	50

(3) がんとの共生社会の実現	
①相談支援体制、情報提供体制の充実	51
②就労支援の強化	54
③社会的な問題への対応の充実	56
④小児・AYA世代、高齢者に対する支援の強化	56
⑤アピアランスケアについて	59
⑥がん診断後の自殺対策について	60
(4) これらを支える基盤の整備	
①人材育成の強化	60
②がん教育・がんの正しい知識の普及啓発の推進	62
③がん登録の推進	64
④患者・府民参画の推進	66
⑤デジタル化の推進	66
⑥感染症発生・まん延時や災害時を見据えた対策	68
5 計画の推進	
(1) 計画の推進と関係者の役割	69
(2) 計画の進行管理	69
6 ロジックモデル及び評価指標一覧	
(1) ロジックモデル	71
(2) 評価指標一覧	76
7 用語集	83

【2次予防：がんの早期発見、がん検診】

①検診の受診率向上

ア 個別目標

がん検診の受診率向上により、がんが早期発見され、進行した状態で発見される患者の減少

イ 現状・課題と方向

(ア) 受診率向上のための啓発

a 現状

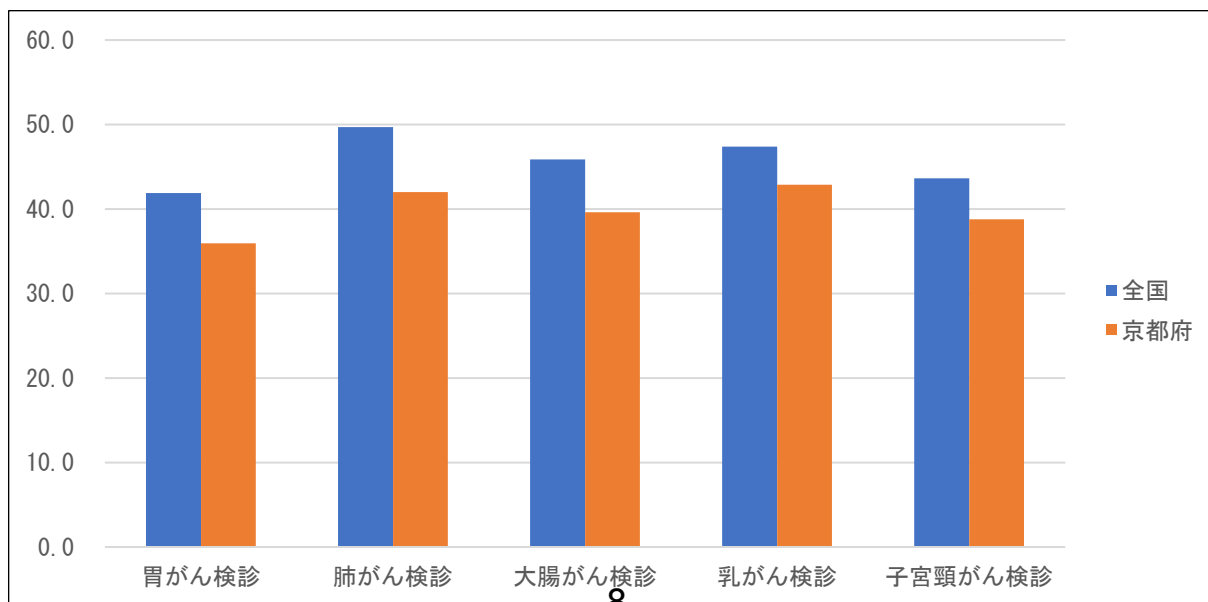
○がん検診は、市町村が住民を対象に行う検診をはじめ、企業が従業員を対象に福利厚生の一環として行う検診、健康保険組合等が保健事業として行う検診、個人が健康管理の一環として自ら受診するものなど、様々な形態があります。

○科学的根拠に基づくがん検診の受診は、がんの早期発見・早期治療につながるため、がんの死亡者をさらに減少させていくためには、がん検診の受診率向上が必要不可欠です。

○国民生活基礎調査（令和4（2022）年度）によると、5大がん検診の受診は35～45%と第2期計画策定時（平成28（2016）年度）から上昇していますが、第2期計画目標の50%を達成できない状況となっています。

○京都府では、がん検診強化月間を設定し、市町村と協働した取組、ピンクリボン運動など産学官民で協働した啓発、地域包括連携協定を活用した取組等を実施しています。また、京都府がん対策推進府民会議受診率向上対策部会を通じて金融機関、生命保険会社等の民間企業と連携した啓発の実施や、事業所を通じてがん検診受診促進の働きかけを行っています。

【図14】69歳以下の検診受診率 京都府と全国の比較（出典：令和4（2022）年度国民生活基礎調査）



男 性		
胃がん検診	50 歳以上/胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査 (※胃部エックス線検査については当分の間、40 歳以上、年 1 回も可)	2 年に 1 回
肺がん検診	40 歳以上/胸部エックス線検査：喀痰細胞診	1 年に 1 回
大腸がん検診	40 歳以上/便潜血検査	1 年に 1 回
女 性		
胃がん検診	50 歳以上/胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査 (※胃部エックス線検査については当分の間、40 歳以上、年 1 回も可)	2 年に 1 回
肺がん検診	40 歳以上/胸部エックス線検査：喀痰細胞診	1 年に 1 回
大腸がん検診	40 歳以上/便潜血検査	1 年に 1 回
乳がん検診	40 歳以上/マンモグラフィ検査 (乳房エックス線検査)	2 年に 1 回
子宮頸がん検診	20 歳以上/子宮頸部の細胞診及び内診	2 年に 1 回

b 課題

- 府、市町村は、データを分析し、各医療圏のがん検診受診に係る課題を明確にして、ナッジ理論に基づく効果的な受診勧奨を実施していく必要があります。
- 受診率を向上させるためには、府民・府・市町村・企業等多くの関係者が連携した啓発体制が必要です。特に、地域包括連携協定に基づき民間企業等と連携した啓発や、かかりつけ医との連携による個別の患者への受診勧奨等にも取り組む必要があります。
- がん検診の受診者が固定化する傾向が見られることから、SNSやデジタルサイネージ等 ICT を活用し、新規受診者を増やすことが必要です。

c 施策の方向

- (a) 府、市町村は医療従事者や企業、職域保健関係者等と連携したがん検診の必要性について啓発を実施します。その際、未受診者や優先順位の高い層（受診率が低い年齢・社会属性等）に対して、ナッジ理論に基づく効果的な啓発・受診勧奨を実施することとし、府は SNS やデジタルサイネージ等 ICT を活用した啓発を行います。
- (b) 府は、市町村が実施するがん検診や、企業・医療保険者等が実施するがん検診の受診実態を把握・分析し、受診率向上のための方策を検討します。
- (c) 病院、診療所、歯科診療所や薬局は、患者への受診啓発を呼びかけます。
- (d) 企業、医療保険者や職域保健関係者は、被扶養者も含めた受診啓発を進めま

す。

- (e) 府は、京都府がん対策推進府民会議受診率向上対策部会を活用し、市町村や企業・医療保険者等に対し、受診率の向上に係る先進事例等最新情報の提供を図ります。

(イ) 受診しやすい環境づくり等

a 現状

- がん検診の受診率向上のためには、その重要性を啓発するとともに、がん検診を受けやすい体制を整備する必要があります。
- 市町村においては、複数のがん検診を同時に実施し一度に受診できるようにする「総合がん検診」や、特定健診との「セット化」の取組が進んでいます。
- また、検診の対象者で働いている方等が受けやすいように、土日、休日や夜間に検診を実施することや、住所地の市町村だけでなく近隣の市町村でもがん検診が受診できるようにする胃がん内視鏡検診、乳がん検診の管外受診制度の導入や、身近なコンビニ等の商業施設で検診を実施するなど、受診しやすい環境づくりに取り組んでいます。
- 費用の負担感をなくし、受診のきっかけをつくるための取組として、がん検診無料クーポン（乳がん、子宮頸がん）が配布されています。

b 課題

- がん検診を受けやすい環境をさらに整備するため、総合がん検診や特定健診とのセット化や、土日・休日検診、夜間検診の充実等を推進するとともに、健康診断等との連携も図る必要があります。
- 受けやすい体制づくりのほか、科学的根拠に基づく精度の高い検診を実施していくことが、受診率の向上を図る上で重要です。

c 施策の方向

- (a) 府は、総合がん検診や特定健診とのセット検診、土日・休日検診、夜間検診の充実について関係機関の調整を図るなど支援・推進します。
- (b) 市町村は、京都府医師会・地区医師会・検診事業者と調整を図り、土日、夜間検診、特定健診とのセット検診、コンビニ検診のほか受診手続の簡素化など、住民の受けやすい検診体制を充実します。
- (c) 企業、医療保険者や職域保健関係者は、被扶養者も含めた受診しやすい職場環境づくりを進めます。
- (d) 府は、より精度が高く効果的な検診について情報収集に努め、市町村との情

報共有を図るとともに、検診方法の見直しに係る国の議論を踏まえ、見直し
がなされた場合は、市町村が迅速に導入できるよう支援します。

- (e) 検診事業者や検診実施医療機関は、検診の需要に対応できる体制を確保しま
す。また、府は検診事業者、検診実施医療機関の実施体制を把握し、必要に
応じて整備を働きかけます。

②精度管理・検診従事者の資質向上

ア 個別目標

科学的根拠に基づく検診方法で、精密検査受診率を向上させ、がんを正確に発見する
体制の徹底

イ 現状・課題と方向

a 現状

- がん検診でがんの疑いがあると判断された方は、精密検査を受診し、がんと診断さ
れた場合には必要に応じて治療が行われますが、自覚症状がない等の理由で精密検
査を受けない場合、がん検診で早期発見されるはずのがんを放置してしまうことにな
ります。
- そのため、要精密検査となった方に対しては、市町村や検診事業者等から精密検査
の受診勧奨が個別に行われています。
- がん検診で、がんを正確に見つけ出すためには、がん検診の関係データを収集・分
析し、事業評価を行うことも必要です。京都府では、市町村で実施しているがん検
診について、がん検診事業評価のためのチェックリストや要精検率、精検受診率な
どプロセス指標等の検診関係データの収集・分析を行っています。
- また、府や京都府医師会では、がん検診に従事する医師、検査技師等の医療従事者
や、市町村のがん検診担当者の資質向上を図るための研修会を実施しています。

b 課題

- 市町村は「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づきがん検
診を実施していますが、精度管理に係るチェックリストにおいて遵守すべき項目の
うち、全ての項目を充足できているわけではありません。
- がんを発見するためには、要精検となった方全員が精密検査を受ける必要がありま
すが、精検受診率は100%ではありません。がん発見率を向上させるために、精密検
査の受診勧奨を推進する必要があります。
- 検診関係データの分析結果を活用し、検診の事業評価・精度管理を行う仕組みを強

化していく必要があります。

○引き続き、専門性の高いがん検診従事者を育成・確保していく必要があります。

c 施策の方向

- (a) 市町村は、精密検査未受診者への受診勧奨・指導を実施します。
- (b) 市町村及び検診実施機関は、チェックリストを活用し、その充足に努めるなど、がん検診の精度管理・事業評価を実施します。
- (c) 府は、京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会により、がん検診評価のためのチェックリストやプロセス指標等各種データを分析し、一定の精度で検診が行われるよう実施方法の改善等について市町村や検診事業者に働きかけるとともに必要な助言を行います。
- (d) 府は、がん検診の精度管理・事業評価結果をホームページに公開するなど府民に情報提供します。
- (e) 府及び医療関係団体は、がん検診及び精密検査に従事する者の資質の向上及び確保を図るため、研修を実施します。
- (f) 医療保険者や事業主は、職域におけるがん検診の実態の把握に努めます。また、厚生労働省発行の「職域におけるがん検診に関するマニュアル」に基づき、科学的根拠に基づいたがん検診の実施に努めます。

C:分野別施策		番号	再掲	アウトプット指標 (施策目標)
〔2〕次予防：がんの早期発見・がん検診の普及	①検診の受診率向上	4		受診率向上部会の特任検診等同時受診を実施している市町村数
				「がん予防重点健康教育及びがん検診実施の指針」に基づく検診実施箇所 休日・夜間検診体制をもつ市町村数
②精進管理・検診事業者の資質向上	5			がん検診事業評価のためのチェックリスト80%以上遵守している市町村数
				再掲 がん検診従事者研修会参加自治体数
				再掲 「がん予防重点健康教育及びがん検診実施の指針」に基づく検診実施率

B:中間アウトカム (個別目標)		番号	再掲	指標
がん検診の受診率向上による、がんの早期発見され、進行がんにかかっている患者の減少	4			胃がん検診受診率
				肺がん検診受診率
				大腸がん検診受診率
				乳がん検診受診率
	再掲			子宮頸がん検診受診率
				精検受診率 (胃がん・バリウム)
				精検受診率 (胃がん・内視鏡)
				精検受診率 (肺がん)
				精検受診率 (大腸がん)
				精検受診率 (乳がん)
				精検受診率 (子宮頸がん)
				がん発見率 (胃がん・バリウム)
科学的根拠に基づいた検診方法で、精密検査受診率を向上させ、がんを早期に発見する体制の徹底	5			がん発見率 (胃がん・内視鏡)
				がん発見率 (大腸がん)
				がん発見率 (乳がん)
				がん発見率 (子宮頸がん)
				がん発見率 (大腸がん)
				がん発見率 (胃がん)
	再掲			がん種別年齢調整罹患率 (人口10万対) (胃)
	再掲			がん種別年齢調整罹患率 (人口10万対) (肺)
	再掲			がん種別年齢調整罹患率 (人口10万対) (大腸)
	再掲			がん種別年齢調整罹患率 (人口10万対) (女性乳房)

A:分野別アウトカム (分野別目標)		番号	再掲	指標
		1		がんの年齢調整死亡率 (75歳未満 人口10万人対)

(2) 評価指標一覧

指標分類	番号	再掲	指標	現状値	目標値 (令和11(2029)年度)	データソース
(1) がん予防・がん検診の強化						
分野別アウトカム指標	A 1		がんの年齢調整死亡率(75歳未満 人口10万人対)	令和3(2021)年度 60.9	減少	国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(人口動態統計)
【2次予防：がんの早期発見、がん検診】						
①検診の受診率向上						
中間アウトカム指標	B 4		胃がん検診受診率	令和4(2022)年度 35.9%	60.0%	国民生活基礎調査
			肺がん検診受診率	令和4(2022)年度 42.0%	60.0%	国民生活基礎調査
			大腸がん検診受診率	令和4(2022)年度 39.6%	60.0%	国民生活基礎調査
			乳がん検診受診率	令和4(2022)年度 42.9%	60.0%	国民生活基礎調査
		再掲	子宮頸がん検診受診率	令和4(2022)年度 38.8%	60.0%	国民生活基礎調査
アウトプット指標	C 4		受診率向上部会の開催状況	令和4(2022)年度 0	毎年1回	健康対策課調べ
			がん検診と特定健診等同時受診を実施している市町村数	令和5(2023)年度 23市町村	26市町村	健康対策課調べ
			休日・夜間検診体制をもつ市町村数	令和5(2023)年度 24市町村	26市町村	健康対策課調べ
			「がん予防重点健康教育及びがん検診実施の指針」に基づく検診実施率	令和5(2023)年度 81.8%	100%	市区町村におけるがん検診の実施状況調査

指標分類	番号	再掲	指標	現状値	目標値 (令和11(2029)年度)	データソース		
②精度管理・検診従事者の資質向上								
中間アウトカム指標	B 5		精検受診率（胃がん・バリウム）	令和2 (2020)年度	85.8%	100%	地域保健・健康増進事業報告	
			精検受診率（胃がん・内視鏡）	令和2 (2020)年度	79.1%	100%	地域保健・健康増進事業報告	
			精検受診率（肺がん）	令和2 (2020)年度	86.8%	100%	地域保健・健康増進事業報告	
			精検受診率（大腸がん）	令和2 (2020)年度	74.2%	100%	地域保健・健康増進事業報告	
			精検受診率（乳がん）	令和2 (2020)年度	94.8%	100%	地域保健・健康増進事業報告	
			精検受診率（子宮頸がん）	令和2 (2020)年度	83.2%	100%	地域保健・健康増進事業報告	
			がん発見率（胃がん・バリウム）	令和2 (2020)年度	0.10%	0.11%以上	地域保健・健康増進事業報告	
			がん発見率（胃がん・内視鏡）	令和2 (2020)年度	0.43%	0.11%以上	地域保健・健康増進事業報告	
			がん発見率（肺がん）	令和2 (2020)年度	0.03%	0.03%以上	地域保健・健康増進事業報告	
			がん発見率（大腸がん）	令和2 (2020)年度	0.23%	0.13%以上	地域保健・健康増進事業報告	
			がん発見率（乳がん）	令和2 (2020)年度	0.28%	0.23%以上	地域保健・健康増進事業報告	
			がん発見率（子宮頸がん）	令和2 (2020)年度	0.02%	0.05%以上	地域保健・健康増進事業報告	
		再掲		がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（胃）	令和元 (2019)年度	45.5	減少	京都府がん実態調査報告書
		再掲		がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（肺）	令和元 (2019)年度	45.1	減少	京都府がん実態調査報告書
		再掲		がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（大腸）	令和元 (2019)年度	58.0	減少	京都府がん実態調査報告書
		再掲		がん種別年齢調整罹患率（人口10万対）（女性乳房）	令和元 (2019)年度	89.4	減少	京都府がん実態調査報告書
アウトプット指標	C 5		がん検診事業評価のためのチェックリスト80%以上遵守している市町村数	令和3 (2021)年度	12市町村	26市町村	がん検診事業評価のためのチェックリスト	
			京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会のホームページへの掲載状況	令和4 (2022)年度	1回	毎年1回	健康対策課調べ	
			がん検診従事者研修会参加自治体数	令和4 (2022)年度	24市町村	26市町村	健康対策課調べ	
		再掲		「がん予防重点健康教育及びがん検診実施の指針」に基づく検診実施率	令和5 (2023)年度	81.8%	100%	市区町村におけるがん検診の実施状況調査